

三河線西末端区間廃止

ふれんどバス

平成16年3月27日 9:00



試乗会に乗車した人に配布された開設記念乗車券

吉良吉田駅長とふれんどバス運転士に花束贈呈



山線の代替バス



レールバス お別れ会



西中金



平成16年3月31日



平成16年3月31日、1020D (10時43分発)列車で「さようなら発車式」が行われた。

発車式を撮ろうとホーム上は勿論、ホーム反対側の道路や岩倉神社前までカメラ片手に陣取り合戦…。

9時50分から西中金駅連絡バス回転場で「レールバスお別れ会」が地元石野地区主催で開催され、13時ごろまで、延々と続いた。





上及び右…西中金

廃線1ヶ月前から、最終日の3月31日まで連日、大勢のお客様が、最後の別れを惜しんで、LEカーに乗車。

学校が春休みに入ると朝から車内は満員。特に、最終日は、車内も各駅ホームも鉄道マニアや地域の人達で人の波…。



三河御船



マン涙、終電車走る

ありがとう三河線
最終便を送る会

三河一色

「心に残る感動的な日」
「私のふるさととは鉄道」



ボランティア団体「夢！応援団」代表者から運転士に花束贈呈

ちよとだけ写真展



ボランティア団体「夢！応援団」主催で行われた「ありがとう三河線！最終便を送る会」が、18時から「ちよとだけ写真展」を駅舎内に掲出し、昔懐かしい戦前の写真やLEカーの写真を掲出。続いて、21時から「思い出を語る会」を開催。三河線に関わった9名の方が、体験談などを駅舎南側の広場で語り、最後に参加者全員で「故郷」を合唱。最終列車到着前、約200名がホームに出で列車を迎え、LEカーの尾灯が見えなくなるまで見送り、誰一人帰ろうとしなかった。

「さみしい言い表せ

思い出を語る会

大歓声に



「思い出を語る会」は、最終列車を



「思い出を語る会」は、最終列車を

「思い出を語る会」は、最終列車を

「思い出を語る会」は、最終列車を

岡崎から来て三河線に乗車した田中さん、里佳子さん夫妻。



吉良吉田



三河一色



一色排水路



西一色



三河楠～三河平坂間

鉄道の立体交差…上は三河線、下は平坂支線(昭和 35 年 3 月 27 日廃線)…廃線後は県道 43 号線。架道橋を平坂跨道橋と命名→その跨道橋も解体(平成 23 年 1 月)された。



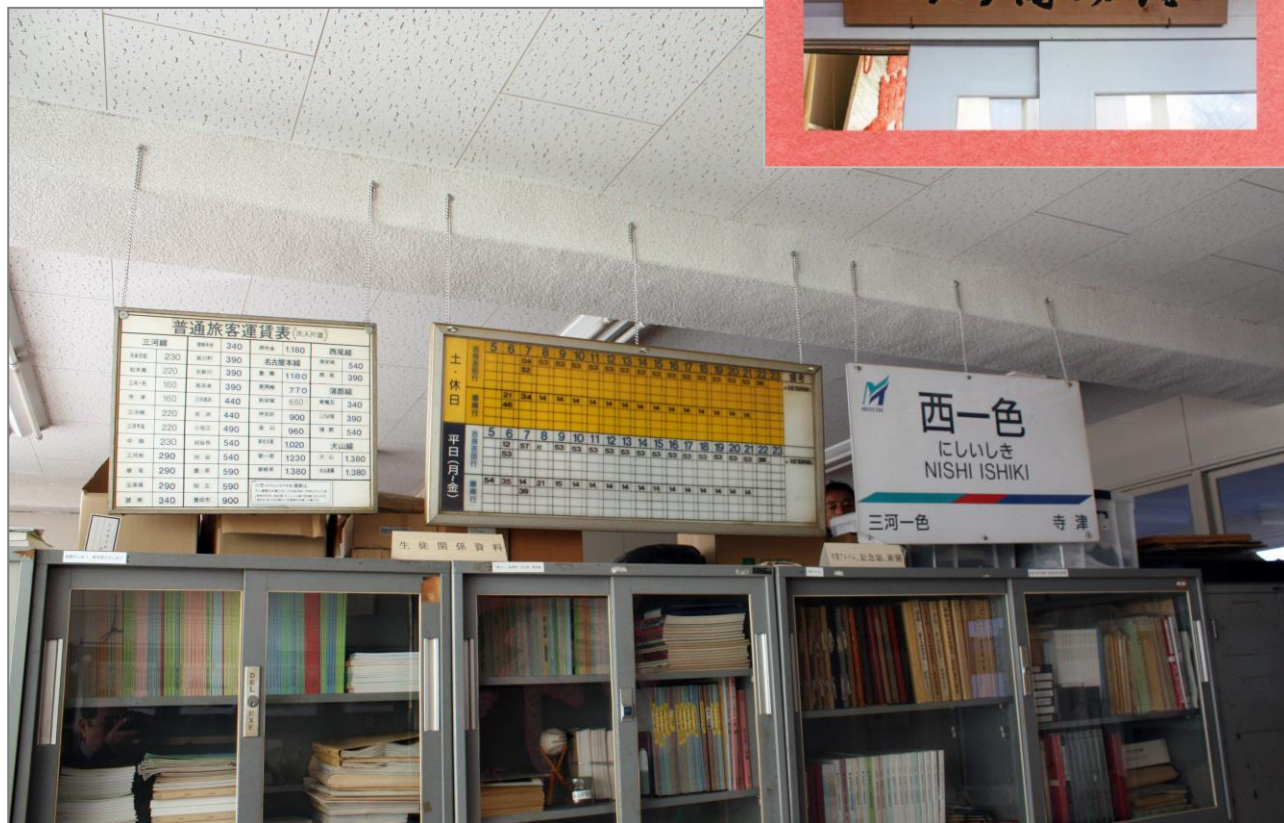
三河平坂



平坂跨道橋…平成 23 年 1 月 20 日解体

以ちこう博物館に

駅名板・時刻表・運賃表が...



平成 22 年 1 月 8 日



一色高校から「駅名板や時刻表」を保存したいと申し出があったとき、名鉄は快く承諾したという。それは昭和 46 年(1971) 2 月、駅員無配置になってから一色高校の華道部の生徒たちが、部活で使った生け花を待合室に飾ったり、清掃して乗降客の心を癒してくれた「細やかな感謝の印」だったとか。



設備等変更

刈谷工場 から

猿投検査場

三河鉄道時代から安全輸送を影で支えた
刈谷工場も猿投検査場へバトンタッチ。



猿投構内の 配線変更

昭和54年6月10日

三河線・豊田線の車両及びLEカーの車両検査をするため、配線変更をして検査場を新設。
平成5年4月1日…豊田線の6両運転化に伴い
猿投検査場も6両対応に増築。



新旧の猿投変電所…検査場増設で変電所も移設



小垣江構内の配線変更

平成14年7月6日



左…新線建設中(右…旧線)

駅西の「前川」は、大雨(10数年に一度?)が、降ると氾濫し、駅周辺が床下浸水、時には床上浸水したこともあった。前川の改修工事に伴い小垣江駅構内も嵩上げし、配線変更と併せて、駅舎も移設した。

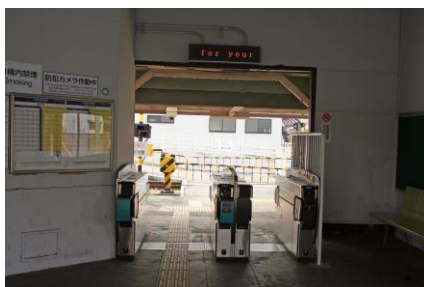


梅坪

駅集中管理システム導入

駅集中管理システムの導入で、乗務員(ワンマン化)や駅員の人員削減を図った。

山線…平成13年5・6月に(同年10月1日ワンマン化)
海線…平成17年8・9月に(平成18年4月29日ワンマン化)



北新川



碧南



竹村



蒲郡市民会館正面玄関ロビーのボードに表裏9枚掲出された。

西尾・蒲郡間廃止反対運動？ 平成21年12月18日



趣旨に協賛し応援する一色高校の先生・生徒代表ら…吉良吉田駅前

第5回 西尾高校 存続と地域の未来を!
名鉄西尾・蒲郡線 体感ウォーク
 平成25年12月19日(木) 20.5km

昨年の様子

名鉄西尾・蒲郡線は、西尾高校をはじめ西尾市内の各学校にとって大切な通学・移動手段となっています。西尾高校1・2年生約720名の生徒は、電車に乗ってこどもの国駅に集まり、西尾駅まで名鉄沿線歩きながら、その存在意義を訴えます。この鉄道が廃止に向けて存続するよう地域の皆さんに利用促進を呼びかけます。

スタート 西尾高校前
ゴール 西尾駅

通過地点での温かいご声援をよしくお願いします!

主催 西尾高校・同PTA
 協賛 西尾市・蒲郡市、名鉄西尾・蒲郡線協議会、西尾高校同窓会、西尾東高校PTA・緑丘高校PTA・一色高校PTA・吉良高校PTA

西尾高校1・2年生(640人)全員が参加し、班ごとに手作りの旗を掲げて、「こどもの国～西尾間」の体感ウォーキングをしながら 鉄道の存続を訴える活動を2学期終了直前の12月中旬に実施。

平成21年から開始し現在も継続している。ゴールを待つ西高の先生とPTAの役員たち



下… 第1陣…14時02分到着。ゴールイン!



西尾駅前



「守れ!! 我らの名鉄西尾・蒲郡線!」

西尾・蒲郡線存続

20世紀末 三河線で活躍した

車両たち



吉浜～三河高浜(6800)



北新川～新川町(7700)

平成10年(1998)～ 平成12年(2000)撮影

2000世紀末には三河線も多種多様な車両が入線し、土曜・休日には、カメラ片手のマニアの姿をよく見かけたが、ワンマン化(山線…平成13年10月1日、海線…平成18年4月29日)以後は、ワンマン化に整備された三河線専用車両しか入線せず、7100や7700の引退後は、6000形一色になりマニアにとって魅力のない線区になったのか、今では三河線両末端廃線区間跡を撮っているマニアの方が多いように思われる。



北新川～高浜港(7700)



刈谷市(5300)



高浜港(1800)



重原'(5700)



重原(5500)



三河知立～知立'(6000)



三河知立(5500)



三河知立～三河八橋(6500)



三河知立～三河八橋(6500)



若林(5300)



土橋～竹村(7100)



上拳母(5300)



豊田市



梅坪



上拳母(6800)



平戸橋



越戸



平戸橋(6500)

三河線ワンマン車(平成21年《2009》12月31日現在)

6000系

6001-6301-6101-6201 6020-6250 6040-6240 701-7702 7709-7710

6002-6302-6102-6202 6071-6251 6071-6241 703-7704 7711-7712(白帯)

6003-6303-6103-6203 6034-6234 6042-6242 7705-7706 7713-7714

6015-6315-6115-6215 6037-6237 6043-6243 7707-7708 7715-7716

6016-6316-6116-6216 6038-6238 6044-6244 2両×8本(16両)

6017-6317-6117-6217 6039-6239

4両×6本(24両)

2両×11本(22両)

6000系

※6000系とは=6000形、6500形、6800形を含むが、最近では6000系6500系、6800系と一般に呼称している。7100系、7700系も然り。以後、〇〇系という。



知立



新川町



三河知立

7700系



碧南



高浜港



7700系白帯車



碧南



刈谷市

三河線で引退した車両

7100系



7100 は 7000 系の 9 次車で昭和 50 年 6 月(12 両)中間車として製造された。従来のドアは、片側 2 ドアの片開き(1100mm)であったが、朝夕のラッシュ対策としてドアは両開き(1300mm)に、ドア付近のシートをロングシート化して混雑緩和を図った。6 次車の中間車に編入し 6 両固定組成とした。パノラマカーの組成変更により余剰となった中間車 2 両の 7100 に運転台を設置し昭和 59 年に 4 両組成で運転。その後 2 両組成となり運転していたが、ワンマン運転用に改良され三河線で最後の奉仕をした。

その役目も、平成 21 年 11 月 27 日で営業運転を終わり、翌々日の 11 月 29 日、7700 系 2 両と連結し 4 両で、豊明～伊奈～本宿間で「さようなら運転」を実施後、完全引退をした。





7100系



記念系統板
(11月1日から27日掲出)

上記のほか、11月1日(日)から定期運行最終日の同27日(金)までの間、当該車両に記念系統板を掲出し運行します。

7100系の特色

7100 系は 6000 系と同系で登場する予定で車体を改造していたが、7100 系と 6000 系では最高速度が異なるため 運転士の錯覚防止策として車体は 6000 系、運転台は 7700 系とした経緯がある。(片側 2 扉と 3 扉が異なるが…)



7101



7104



三河知立 10 号踏切

知立…平成 21 年 11 月 4 日



猿 投



平成22年1月18日

7700系 7700系は昭和48年登場した車両で当時特急車として運用していた7000系(パノラマカー)との連結を考慮し前頭部を除き車体・性能は7000系と同仕様とした。当初は8編成(2両組成は4編成、4両組成は4編成)であったが、その後、4両組成の中間車が7000系に組み込まれるなどの経緯が…。
 最後は三河線のワンマン車両として活躍。車両老朽化や部品調達が難しくなり、平成22年2月26日をもって定期運行を終了し、3月21日「さようなら運転」を実施し引退した。

「さようなら系統板」の掲出…平成22年2月1日～2月26日



<拡大図>
 左から7100系、7700系、7000系



(碧南行き)



(知立行き)

知立・三河知立
平成22年2月3日





知立…平成 22 年 2 月 3 日

矢作川鉄橋

解体作業の土産

平成 22 年 1 月 29 日

下の写真は「N.C.R.M.C⁰.STEEL.I.80」と刻印されている。



矢作川鉄橋の架線柱にアメリカ製の古レールが使用されていた。

鉄道ピクトリアル の 2009 年 9 月号(松永直幸氏寄稿…名鉄資料館長)によれば、「架線柱は三河鉄道営業報告(大正 15 年 4 月～9 月)によると 50 ポンドレールを加工利用したとあり、建てた年代が分かる。三河線沿線に多く残るロシア製を期待していたが、1880 年代のアメリカ製であった」と記している。

矢作川で使用されていた古レール… 6 種類

JOLIET 80 JOLIET 1882 JOLIET 1882

N.C.R.M.C⁰.STEEL.I.80 N.C.R.M.C⁰.STEEL.III 84 85 UNION STEEL C₀. XI.87

このうち、N.C.R.M.C⁰.STEEL と UNIONSTEEL.C₀ は、名鉄沿線では初見とのこと。





現在の 駅舎



碧南



新川町



碧南中央



北新川



三河高浜



高浜港



吉浜



刈谷市



刈谷



小垣江



重原



知立



三河知立